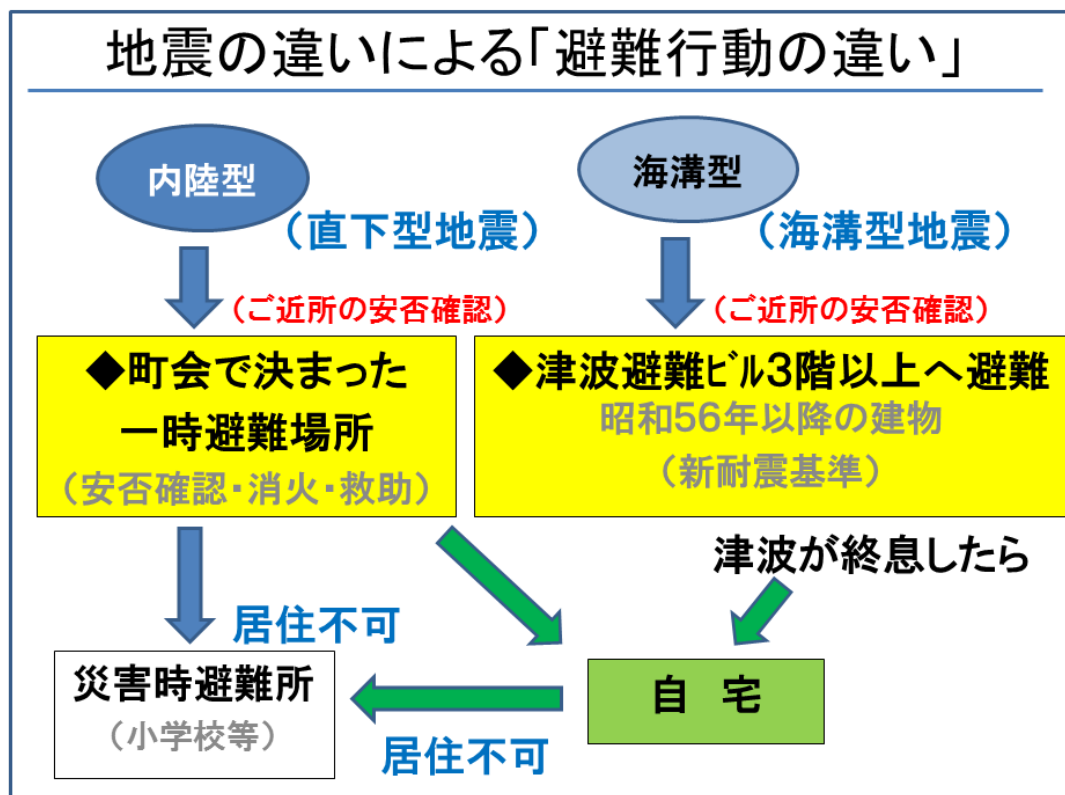


地震の際の避難の流れ



◆地震によって、津波の可能性があるかどうかで避難先が変わります

地震発生後、まずは自身の身の安全を守ってください。次に家族や隣近所の安否を確認し、テレビ・ラジオ・おおさか防災ネットのメールなどで**津波の可能性のあるのかを確認してください。**

津波の可能性あり→津波避難ビルの3階以上へ避難

津波の可能性なし→一時避難場所へ避難

火災の消火や救助が必要な場合は協力し、自宅が倒壊等で住めない場合は災害時避難所へ移動しましょう。

もしものときに備えて

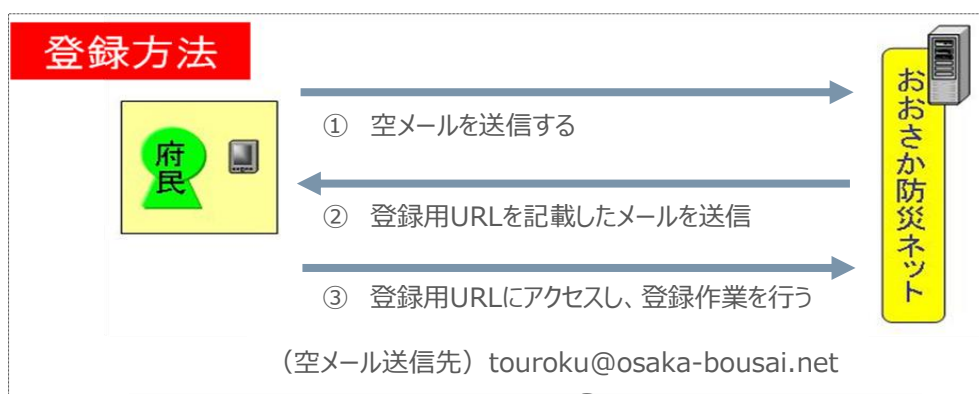
正しい情報を入手しましょう

携帯メールアドレスを登録すると、地震・津波・台風情報や気象に関する注意報・警報、避難勧告や指示情報など、幅広い防災情報が提供されます。



防災情報メール

おおさか防災ネットの登録方法



もしものときに備えて、ほかの情報ツールも活用してみましょう

電話が使えない！家族と連絡をとるには

「171」をダイヤルし、ガイダンスにしたがって
伝言を登録・再生します。



災害伝言ダイヤル171



もしものときに備えて

携帯電話・スマートフォンなどでも
受信できます

大阪市からの避難情報について

避難準備情報	避難勧告	避難指示
発令時の状況 ◆人的被害の発生する可能性が高まった状況	◆人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況	◆前兆現象の発生など人的被害の発生する危険性が非常に高い状況 ◆人的被害の発生した状況
皆さんに していただく 行動 ◆避難行動要支援者や避難行動に時間を要する住民は、避難行動を開始（避難支援者は支援行動を開始）	◆通常の避難行動ができる住民等は、避難所等への避難を開始	◆すべての住民等は、避難を直ちに完了

防災スピーカーのサイレン(警報音)パターン

高倉地域では、**高倉小学校・高倉中学校に設置しています**。緊急度が高くなるほどサイレンの間隔が短くなります。



音が聞けます

緊急事態の種類	サイレン（警報音）パターン	とっていただく行動
・テロやゲリラなど武力攻撃に関する警報 ・弾道ミサイル攻撃に関する警報	サイレン 14秒吹鳴	屋内に入り、テレビやラジオをつけ、詳しい状況を確認してください。
大津波警報	サイレン 3秒吹鳴 2秒休止 サイレン 3秒吹鳴 2秒休止 サイレン 3秒吹鳴	海岸や河川から離れ、津波避難ビルなど丈夫な建物の3階以上に避難してください。
津波警報	サイレン 5秒吹鳴 5秒休止 サイレン 5秒吹鳴	
避難指示	サイレン 15秒吹鳴 10秒休止 サイレン 15秒吹鳴 10秒休止 サイレン 15秒吹鳴	お近くの災害時避難所など、安全な場所に避難してください。 ※河川の氾濫など、避難所に避難するより近くの3階以上の建物に避難することの方が安全な場合があります。普段から身を守る行動について確認しておきましょう。
避難勧告	サイレン 10秒吹鳴 10秒休止 サイレン 10秒吹鳴 10秒休止 サイレン 10秒吹鳴	
緊急地震速報 (震度5弱以上)※1	緊急地震速報チャイム音	ただちに身を守る適切な行動をとりましょう。

※ 緊急地震速報は、震源が近く、揺れの到達時間が早いと予測される場合、揺れてから放送されることになるため、放送しない場合があります。